

6 静岡市の救急医療の利用について

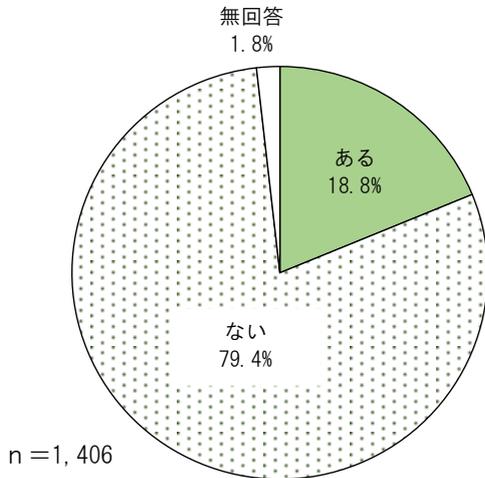
1	直近3年間で救急車を呼んだことがあるか	121
1-1	救急車を呼ぼうと決めた理由	122
2	夜間・休日等の救急医療利用時に結果的に緊急性がなかったこと	124
2-1	夜間・休日の救急医療を利用した理由	125
3	これまでに行っていた啓発事業で見たことがあるもの	127
4	夜間・休日の救急医療について	129
5	救急医療体制の基準のための地域の設定のために重視すべきこと	138

6 静岡市の救急医療の利用について

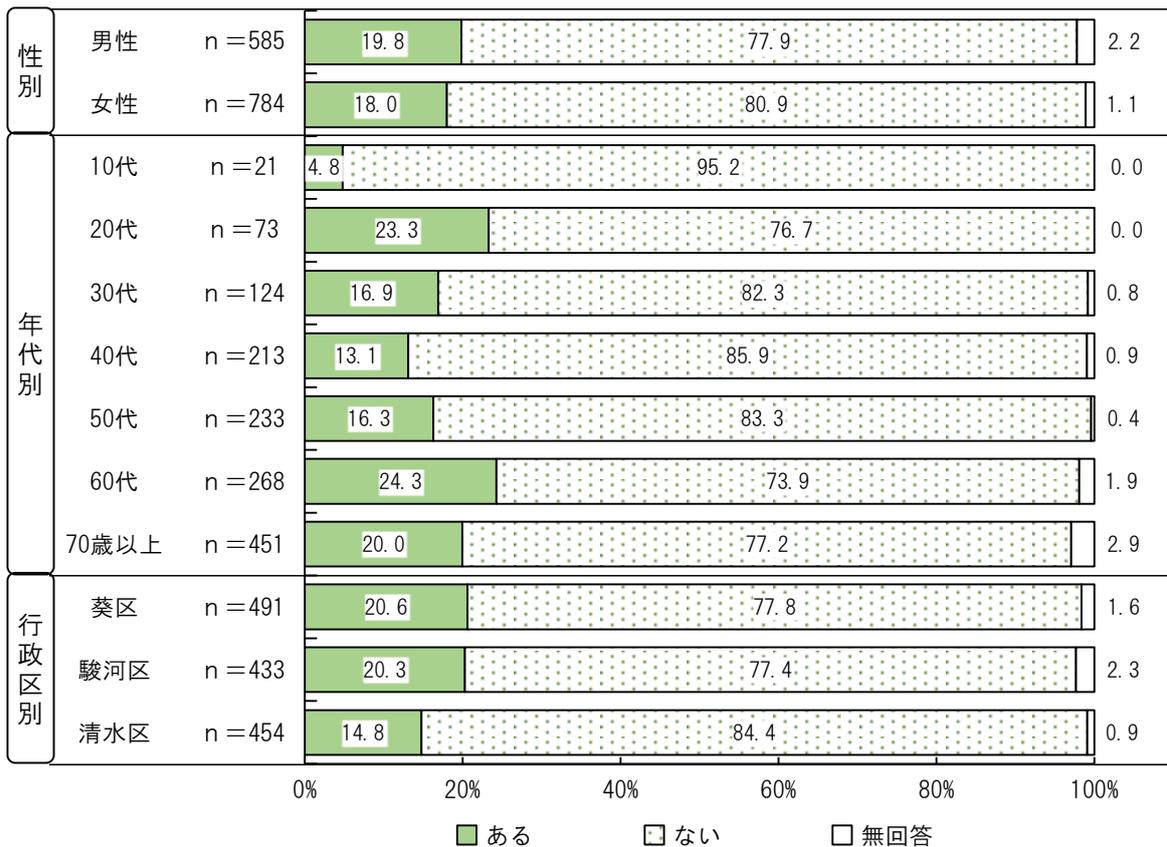
問1 直近の3年間で、救急車を呼んだことがありますか。(〇は1つ)

◎POINT◎

直近の3年間で、救急車を呼んだことがあるかについては、「ある」が18.8%、「ない」が79.4%となっている。



- ◆性別で見ると、大きな差異はみられない。
- ◆年代別で見ると、20代、60代において「ある」が23.3%、24.3%と多くなっている。
- ◆行政区別で見ると、清水区において「ない」が84.4%と多くなっている。

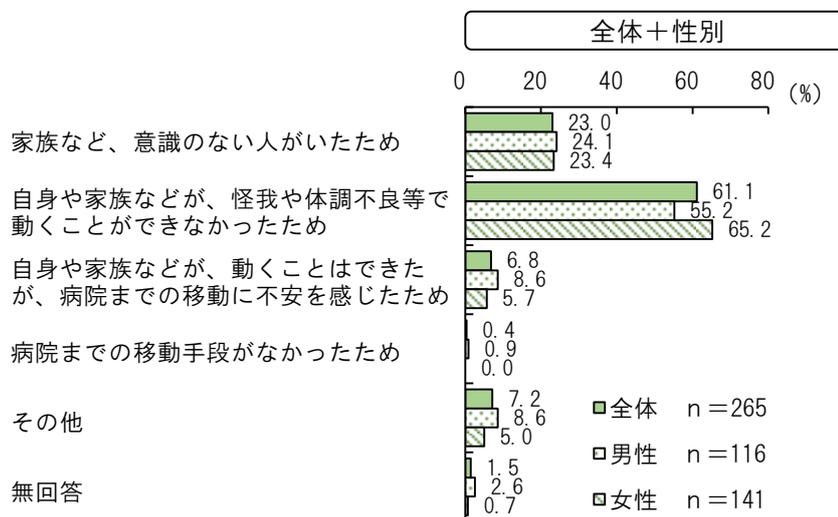


【問1で「ある」と回答した方のみ】

問1-1 救急車を呼ぶことを決めた主な理由は何ですか。(〇は1つ)

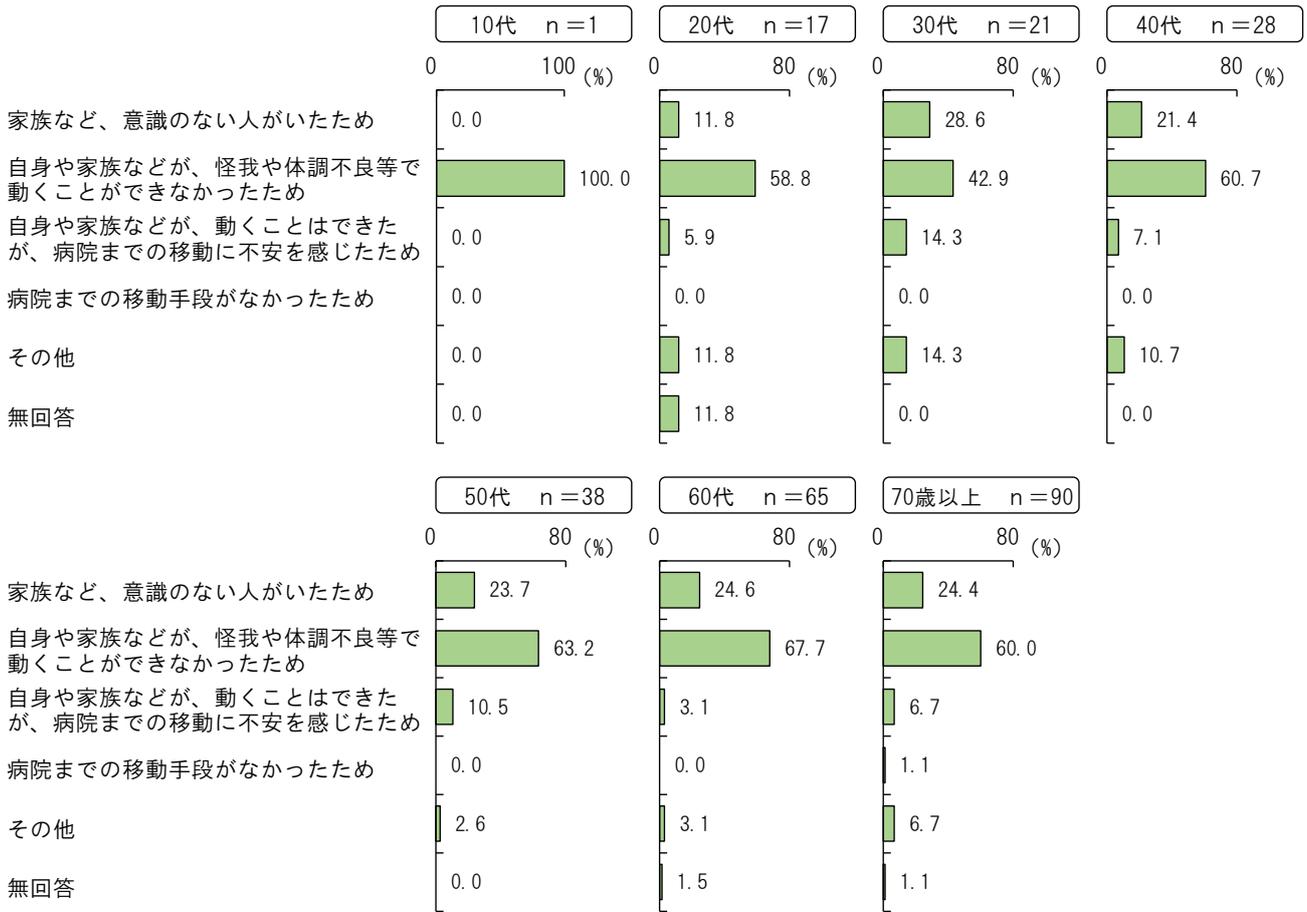
◎POINT◎

救急車を呼ぶことを決めた主な理由は、「自身や家族などが、怪我や体調不良等で動くことができなかったため」が61.1%と最も多く、次いで「家族など、意識のない人がいたため」が23.0%、「自身や家族などが、動くことはできたが、病院までの移動に不安を感じたため」が6.8%などとなっている。



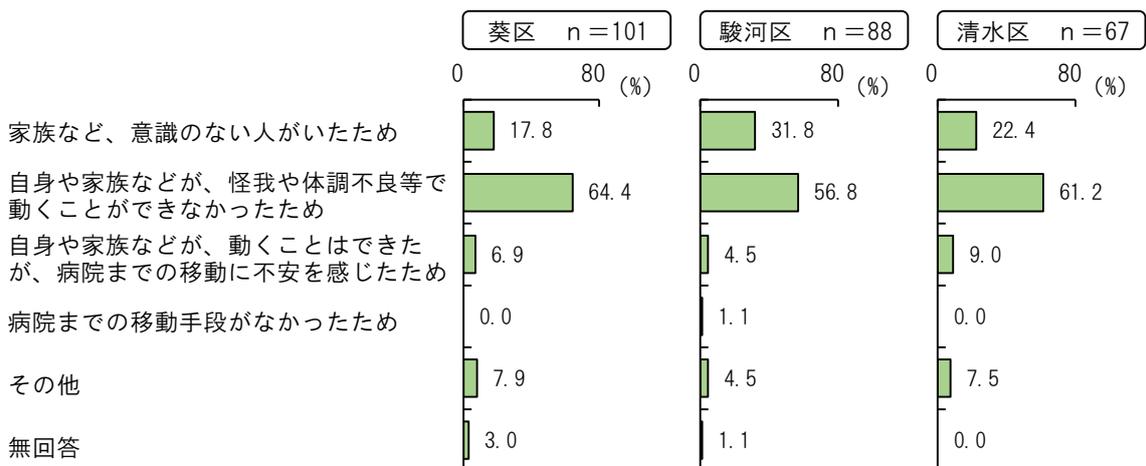
◆性別で見ると、女性において「自身や家族などが、怪我や体調不良等で動くことができなかったため」が65.2%と多くなっている。

【年代別】



◆年代別でみると、30代において「自身や家族などが、動くことはできたが、病院までの移動に不安を感じたため」が14.3%と多くなっている。

【行政区別】

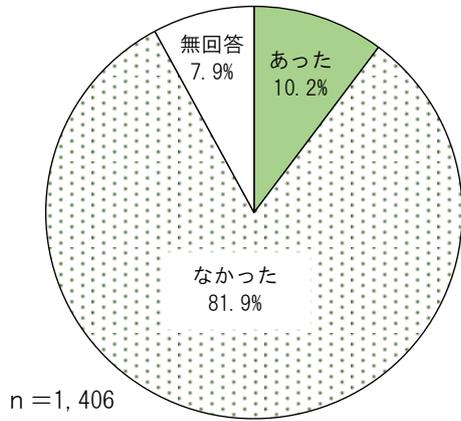


◆行政区別でみると、駿河区において「家族など、意識のない人がいたため」が31.8%と多くなっている。

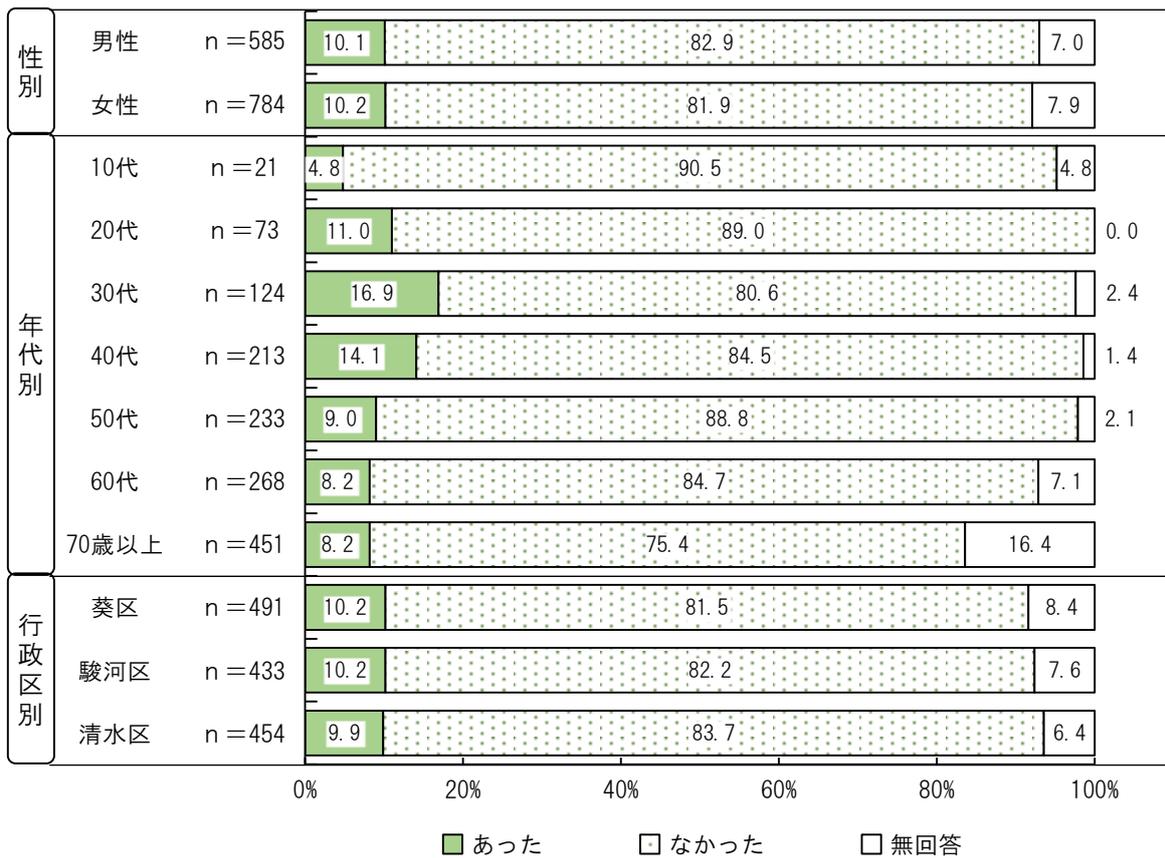
問2 直近の3年間で、ご自身やご家族が夜間・休日等の救急医療を利用し、結果的に緊急性がなかったと思うことはありましたか(公共交通機関・自家用車の利用等、救急車以外の場合も含む)。(〇は1つ)

◎POINT◎

夜間・休日等の救急医療を利用し、結果的に緊急性がなかったと思ったことの有無は、「あった」が10.2%、「なかった」が81.9%となっている。



- ◆性別で見ると、大きな差異はみられない。
- ◆年代別で見ると、10代において「なかった」が90.5%と多くなっている。
- ◆行政区別で見ると、大きな差異はみられない。

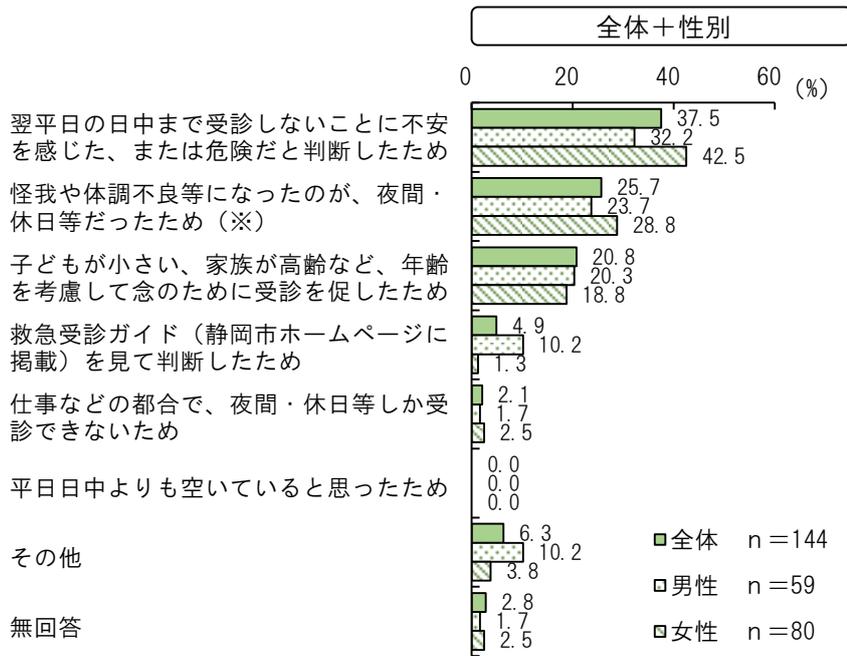


【問2で「あった」と回答した方のみ】

問2-1 そのときに、夜間・休日等の救急医療を利用した主な理由は何ですか。(○は1つ)

◎POINT◎

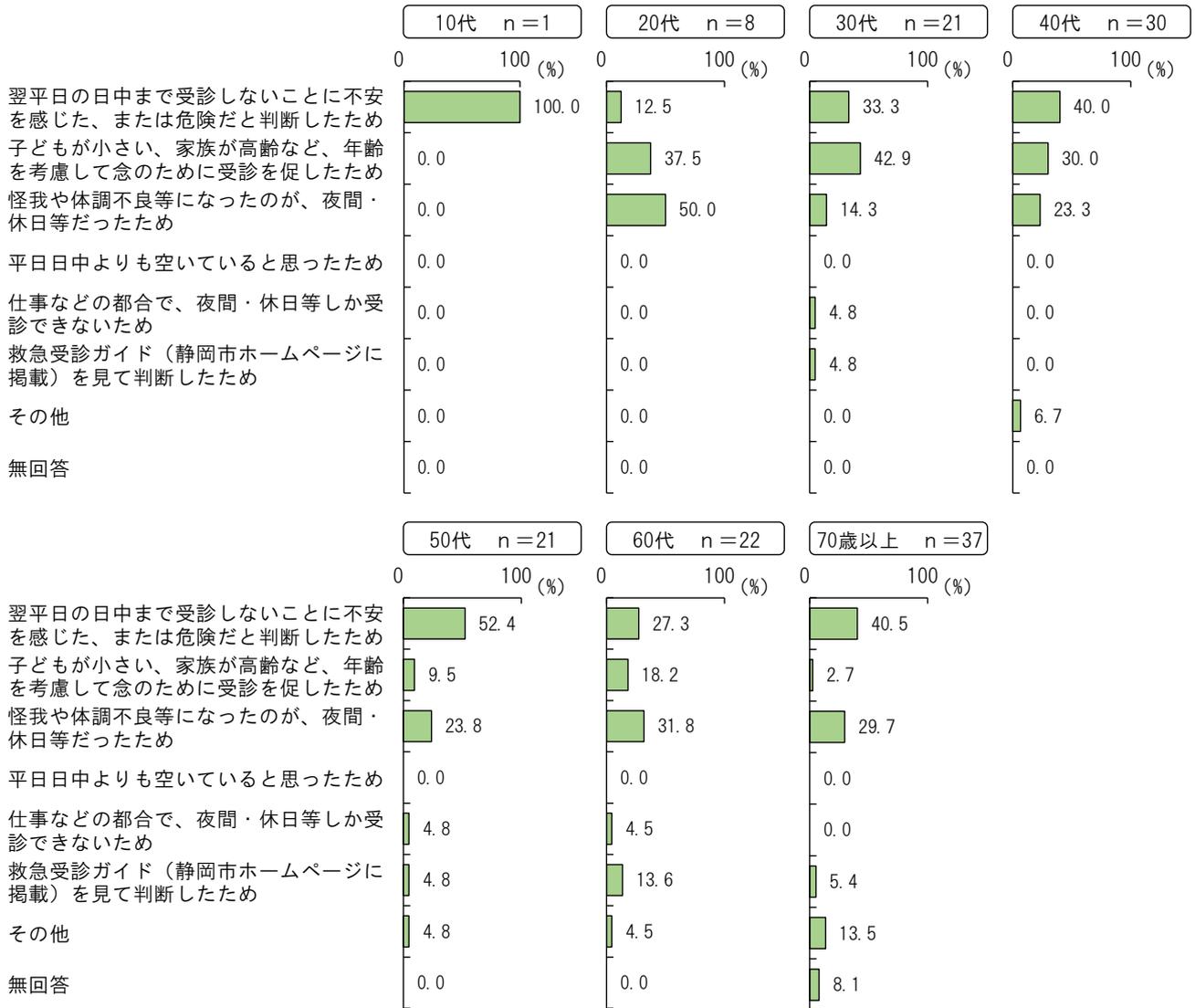
夜間・休日等の救急医療を利用した主な理由は、「翌平日の日中まで受診しないことに不安を感じた、または危険だと判断したため」が37.5%と最も多く、次いで「怪我や体調不良等になったのが、夜間・休日だったため」が25.7%、「子どもが小さい、家族が高齢など、年齢を考慮して念のために受診を促したため」が20.8%などとなっている。



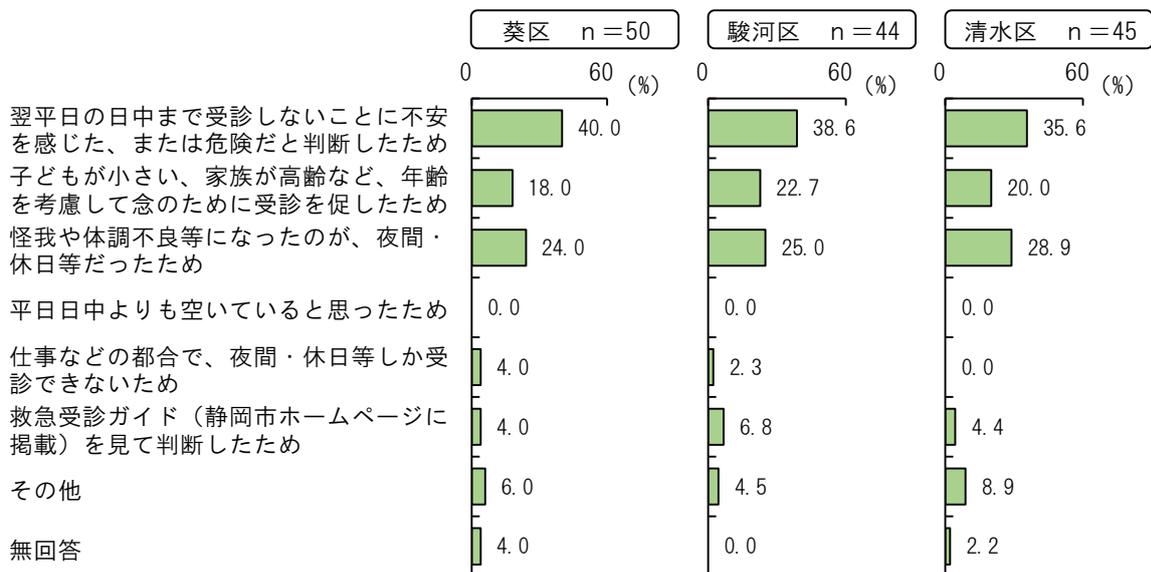
※「翌平日の日中まで受診しないことに不安を感じた、または危険だと判断した」・「子どもが小さい、家族が高齢など、年齢を考慮して念のために受診を促した」・「救急受診ガイド(静岡市ホームページに掲載)を見て判断した」という場合を除く。

- ◆性別で見ると、男性において「救急受診ガイド(静岡市ホームページに掲載)を見て判断したため」が10.2%と多くなっている。女性においては「翌平日の日中まで受診しないことに不安を感じた、または危険だと判断したため」「怪我や体調不良等になったのが、夜間・休日等だったため」が多くなっている。
- ◆年代別で見ると、30代において「子どもが小さい、家族が高齢など、年齢を考慮して念のために受診を促したため」が42.9%と多く、「怪我や体調不良等になったのが、夜間・休日等だったため」が14.3%と少なくなっている。50代においては「翌平日の日中まで受診しないことに不安を感じた、または危険だと判断したため」が52.4%と多くなっている。60代においては「翌平日の日中まで受診しないことに不安を感じた、または危険だと判断したため」が27.3%と少なくなっている。
- ◆行政区別で見ると、大きな差異はみられない。

【年代別】



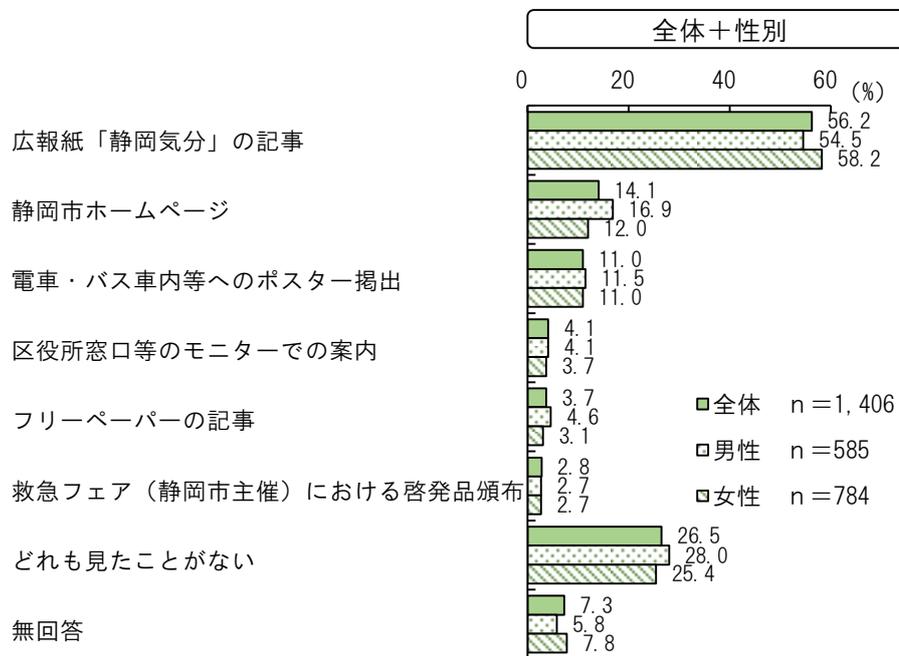
【行政区別】



問3 静岡市がこれまでに行っていた啓発事業で見たことがあるものは何ですか。(〇はいくつでも)

【POINT】

静岡市がこれまでに行っていた啓発事業で見たことがあるものは、「広報紙『静岡気分』の記事」が56.2%と最も多く、次いで「静岡市ホームページ」が14.1%、「電車・バス車内等へのポスター掲出」が11.0%などとなっている。一方、「どれも見たことがない」は26.5%となる。



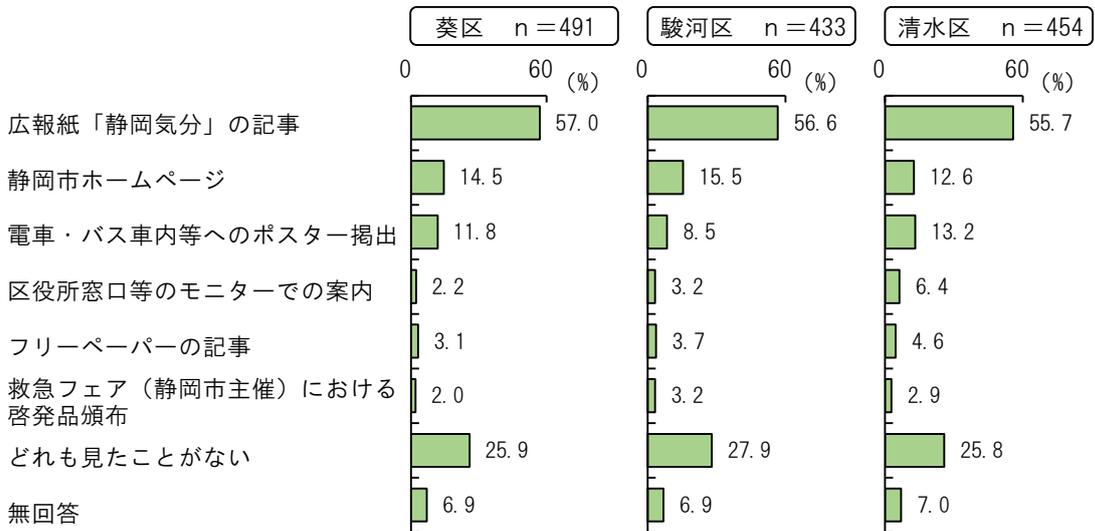
◆性別でみると、大きな差異はみられない。

【年代別】



◆年代別で見ると、20代において「電車・バス車内等へのポスター掲出」が30.1%と多くなっている。70歳以上においては「静岡市ホームページ」が7.3%と少なくなっている。

【行政区別】

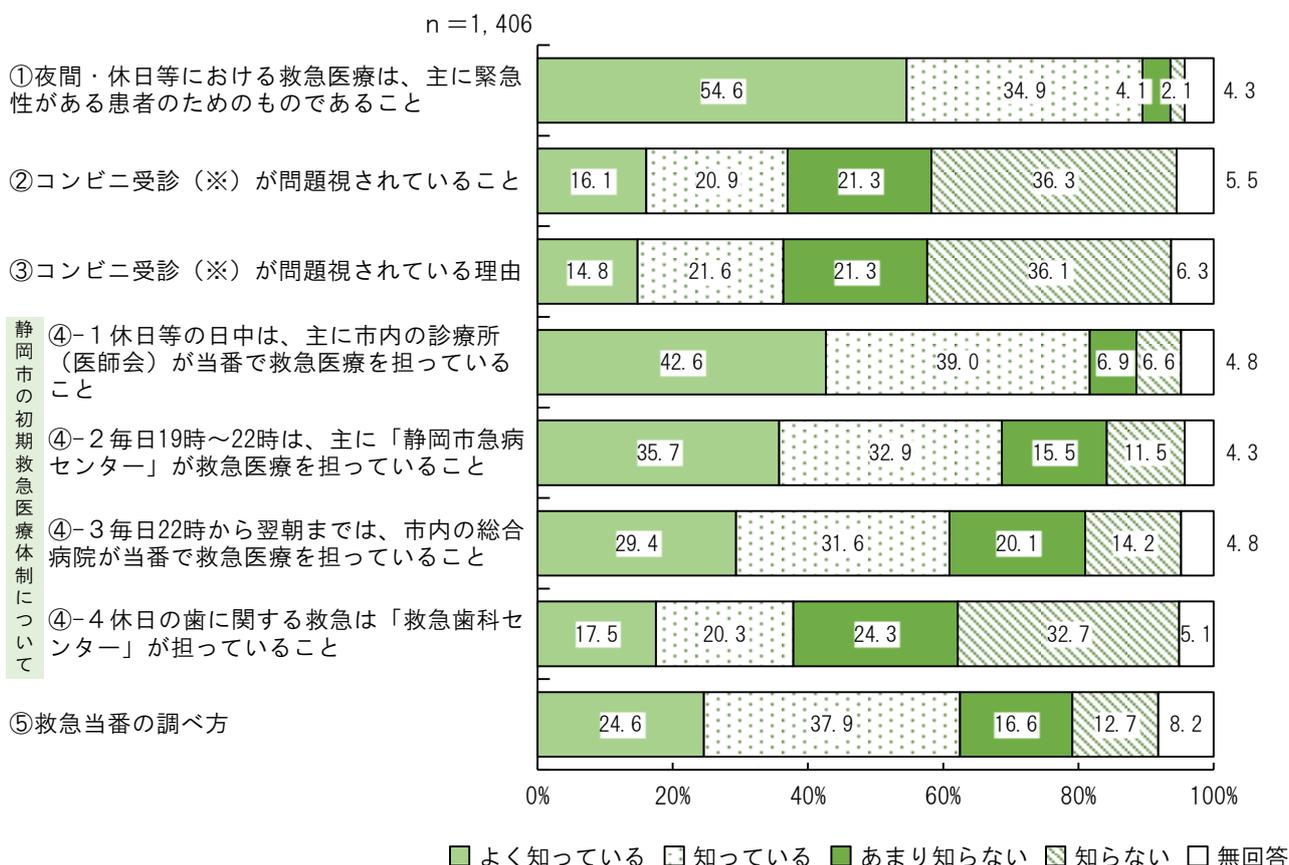


◆行政区別で見ると、大きな差異はみられない。

問4 夜間・休日等における救急医療に関する以下の項目について、それぞれの程度知っていますか。
(○は項目ごとに1つ)

◎POINT◎

夜間・休日等における救急医療に関する項目についてどの程度知っているかについては、「よく知っている」が【①夜間・休日等における救急医療は、主に緊急性がある患者のためのものであること】において54.6%と最も多くなっている。一方、「知らない」は【②コンビニ受診が問題視されていること】において36.3%と最も多くなっている。

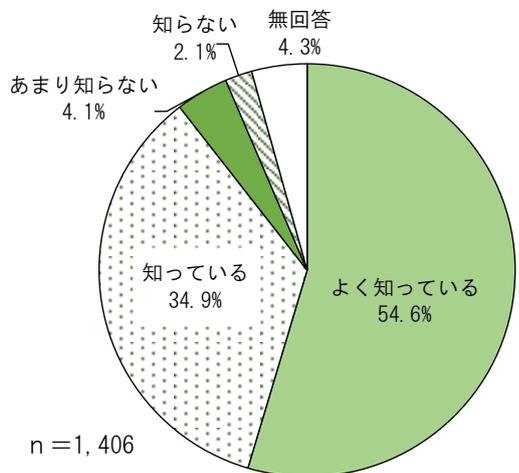


※コンビニ受診：一般的に外来診療をしていない休日や夜間に、緊急性のない軽症患者が、救急外来を受診すること。「緊急性の高い重症患者への対応に支障をきたす可能性がある」などの理由から問題視されている。

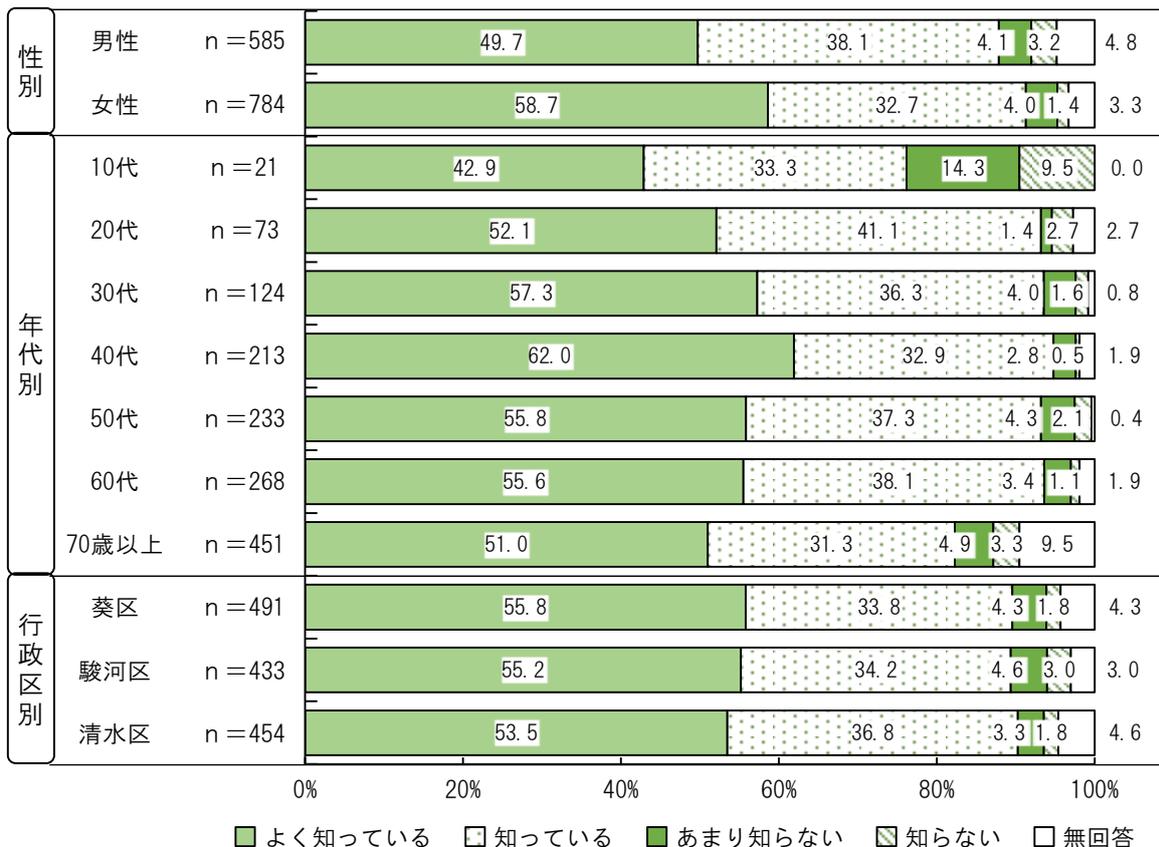
【①夜間・休日等における救急医療は、主に緊急性がある患者のためのものであること】

◎POINT◎

夜間・休日等における救急医療は、主に緊急性がある患者のためのものであることについては、「よく知っている」が54.6%と最も多く、次いで「知っている」が34.9%、「あまり知らない」が4.1%などとなっている。また、『知っている』（「よく知っている」＋「知っている」）は89.5%、『知らない』（「あまり知らない」＋「知らない」）は6.2%となる。



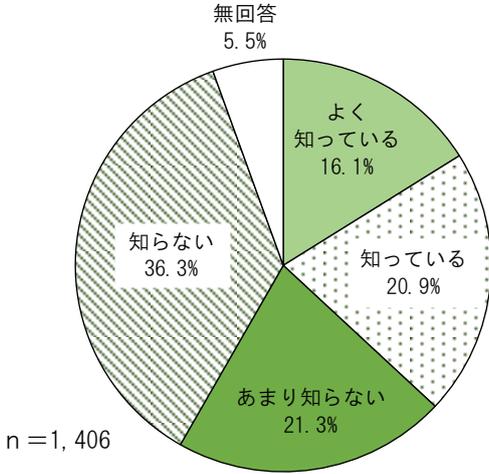
- ◆性別で見ると、男性において「知っている」が38.1%と多くなっている。女性においては「よく知っている」が58.7%と多くなっている。
- ◆年代別で見ると、10代において『知らない』が23.8%と多くなっている。
- ◆10代において「よく知っている」が42.9%と少なくなっている。
- ◆行政区別で見ると、大きな差異はみられない。



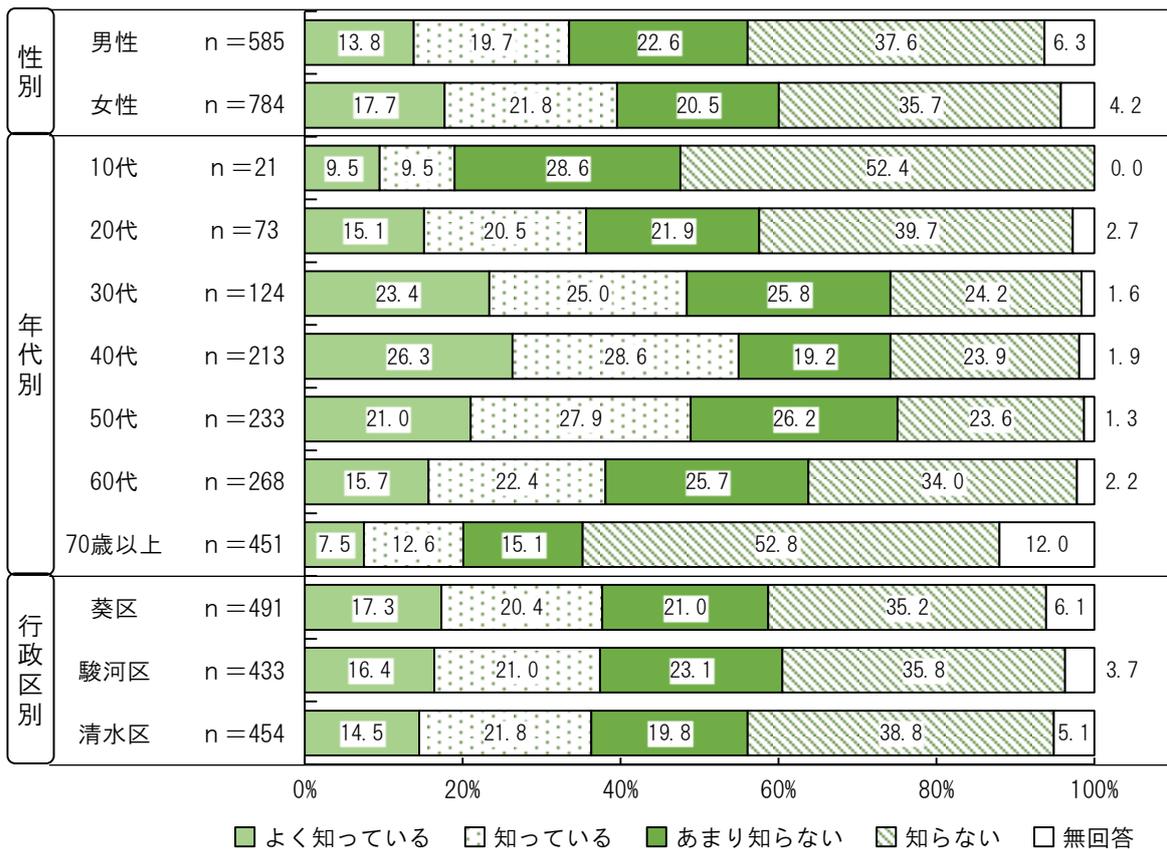
【②コンビニ受診が問題視されていること】

◎POINT◎

コンビニ受診が問題視されていることについては、「知らない」が36.3%と最も多く、次いで「あまり知らない」が21.3%、「知っている」が20.9%などとなっている。また、『知っている』（「よく知っている」＋「知っている」）は37.0%、『知らない』（「あまり知らない」＋「知らない」）は57.5%となる。



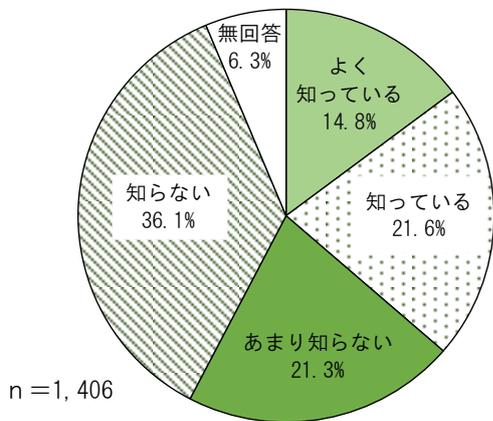
- ◆性別で見ると、女性において『知っている』が39.5%と多くなっている。
- ◆年代別で見ると、10代と70歳以上において『知らない』が81.0%、67.9%と多くなっている。
- ◆行政区別で見ると、大きな差異はみられない。



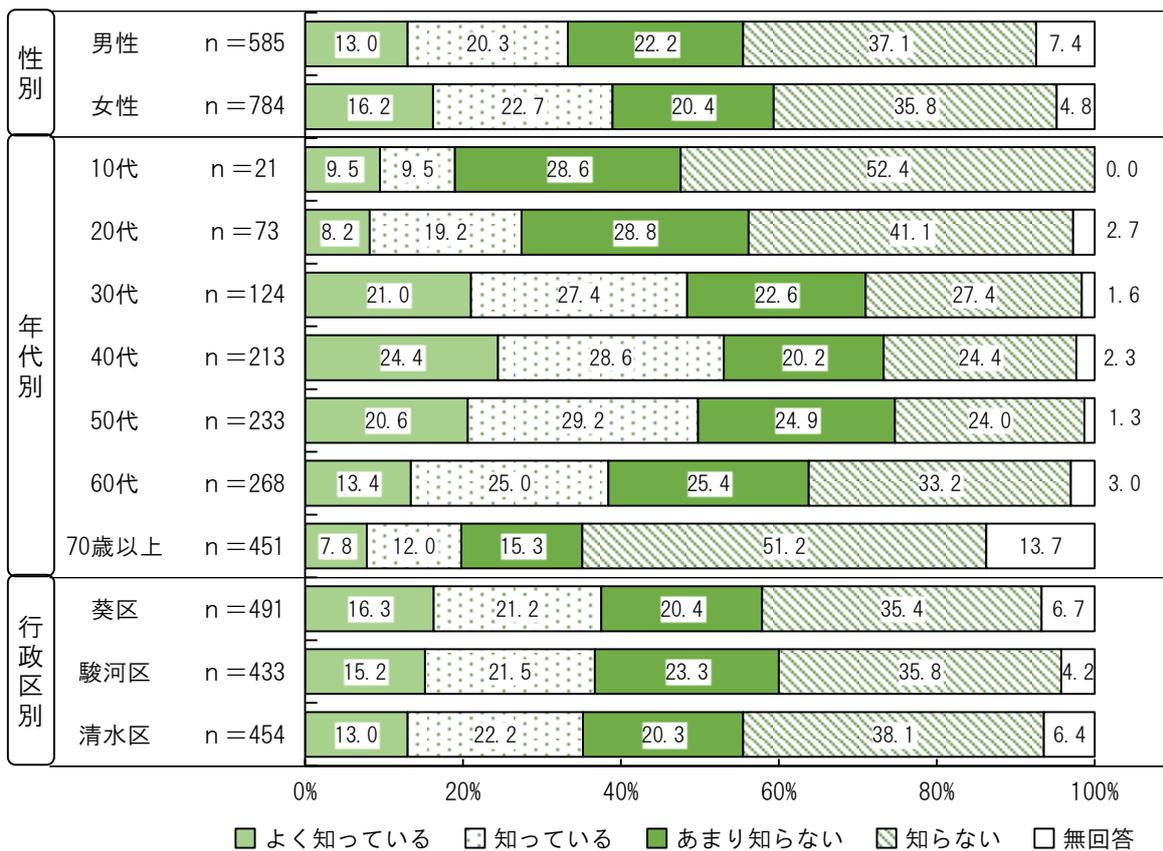
【③コンビニ受診が問題視されている理由】

◎POINT◎

コンビニ受診が問題視されている理由については、「知らない」が36.1%と最も多く、次いで「知っている」が21.6%、「あまり知らない」が21.3%などとなっている。また、『知っている』（「よく知っている」＋「知っている」）は36.3%、『知らない』（「あまり知らない」＋「知らない」）は57.4%となる。



- ◆性別で見ると、女性において『知っている』が38.9%と多くなっている。
- ◆年代別で見ると、10代において『知らない』が81.0%と多くなっている。
- ◆行政区別で見ると、大きな差異はみられない。

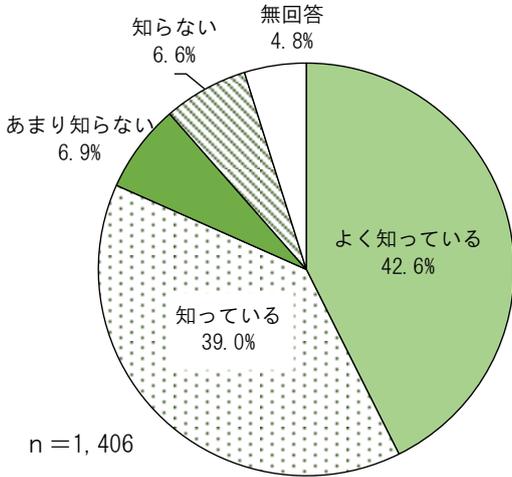


《④静岡市の初期医療体制について》

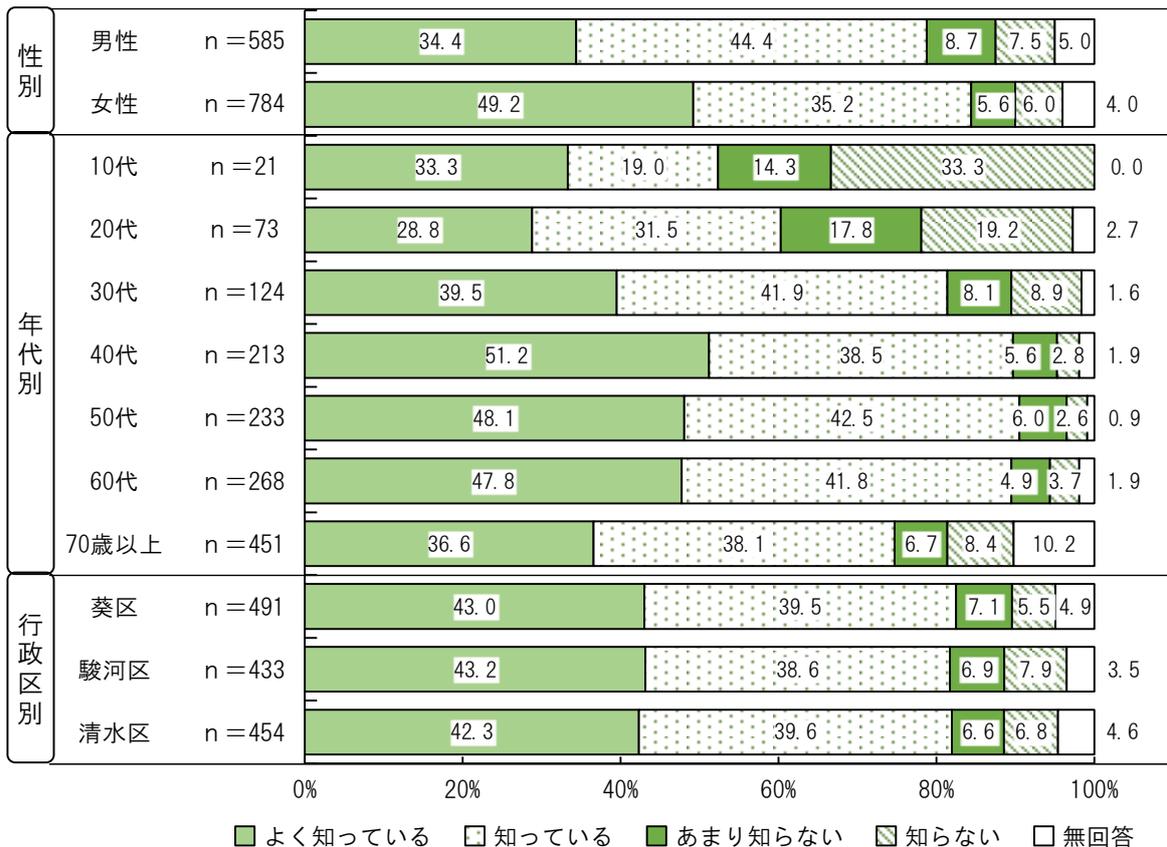
【④-1 休日等の日中は、主に市内の診療所（医師会）が当番で救急医療を担っていること】

◎POINT◎

休日等の日中は、主に市内の診療所（医師会）が当番で救急医療を担っていることについては、「よく知っている」が42.6%と最も多く、次いで「知っている」が39.0%、「あまり知らない」が6.9%などとなっている。また、『知っている』（「よく知っている」＋「知っている」）は81.7%、『知らない』（「あまり知らない」＋「知らない」）は13.5%となる。



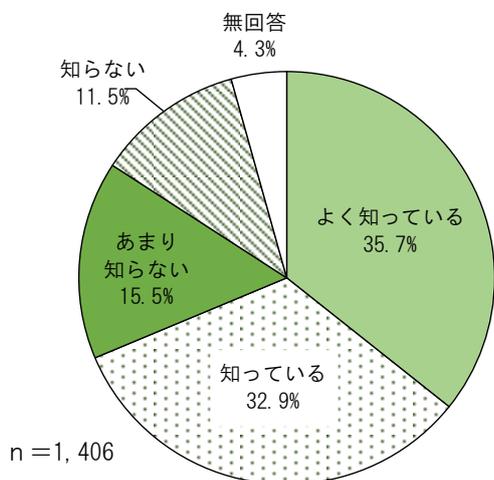
- ◆性別でみると、男性において「知っている」が44.4%と多くなっている。女性においては「よく知っている」が49.2%と多くなっている。
- ◆年代別でみると、10代において「知らない」が33.3%と多くなっている。
- ◆行政区別でみると、大きな差異はみられない。



【④-2 毎日19時～22時は、主に「静岡市急病センター」が救急医療を担っていること】

◎POINT◎

毎日19時～22時は、主に「静岡市急病センター」が救急医療を担っていることについては、「よく知っている」が35.7%と最も多く、次いで「知っている」が32.9%、「あまり知らない」が15.5%などとなっている。また、『知っている』（「よく知っている」＋「知っている」）は68.6%、『知らない』（「あまり知らない」＋「知らない」）は27.0%となる。



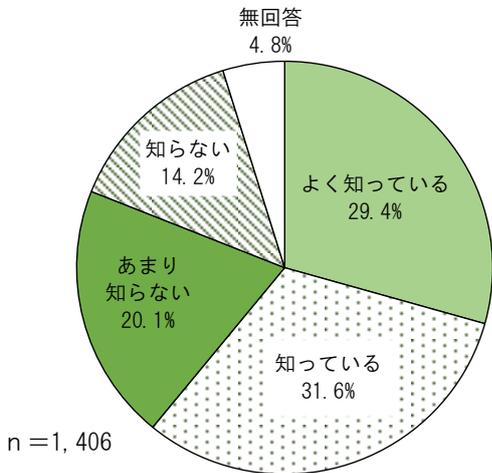
- ◆性別で見ると、女性において「よく知っている」が41.7%と多くなっている。
- ◆年代別で見ると、10代において「知らない」が47.6%と多くなっている。
- ◆行政区別で見ると、大きな差異はみられない。



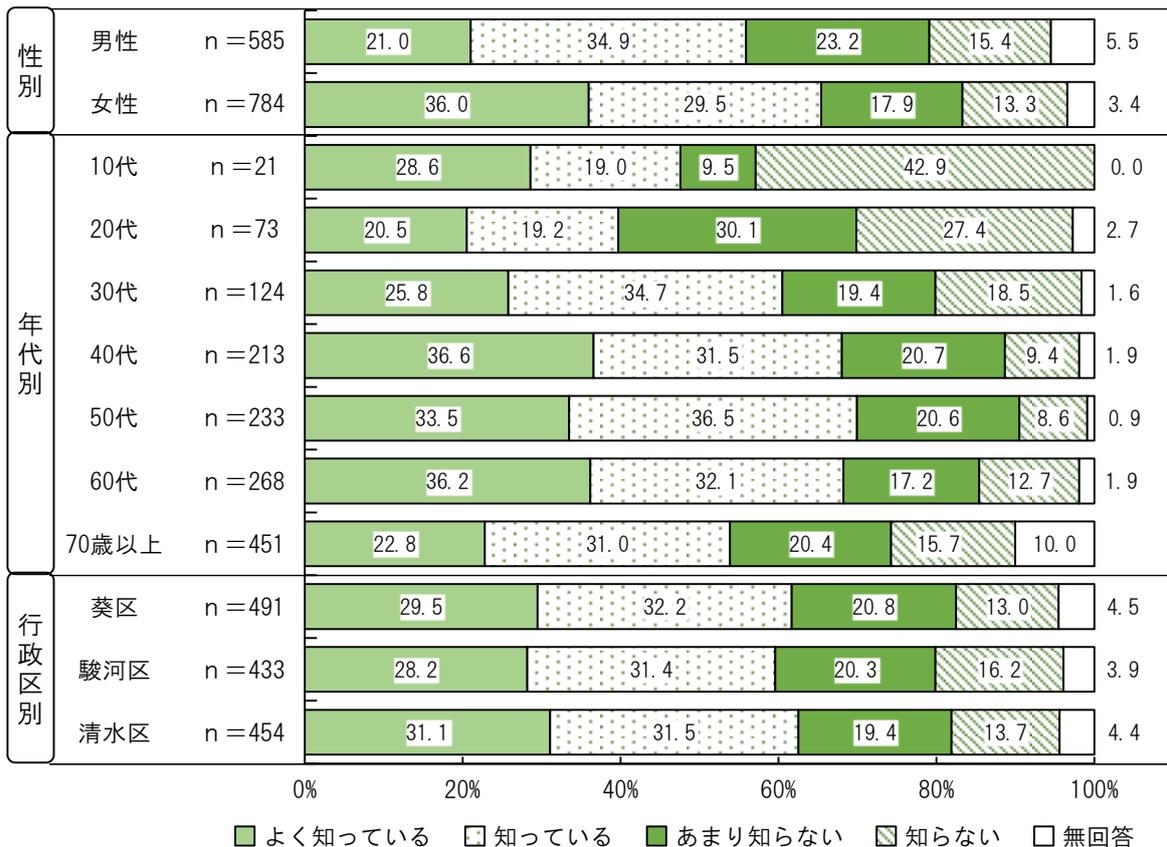
【④-3 毎日22時から翌朝までは、市内の総合病院が当番で救急医療を担っていること】

◎POINT◎

毎日22時から翌朝までは、市内の総合病院が当番で救急医療を担っていることについては、「知っている」が31.6%と最も多く、次いで「よく知っている」が29.4%、「あまり知らない」が20.1%などとなっている。また、『知っている』（「よく知っている」+「知っている」）は61.0%、『知らない』（「あまり知らない」+「知らない」）は34.2%となる。



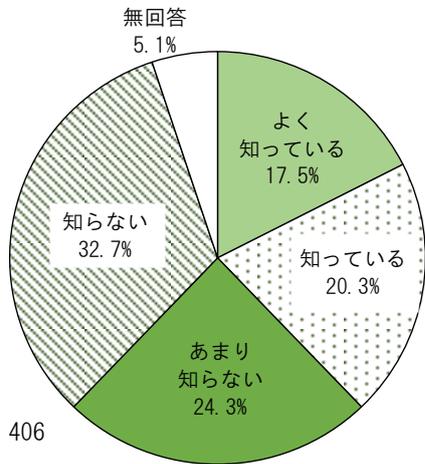
- ◆性別で見ると、女性において「よく知っている」が36.0%と多くなっている。
- ◆年代別で見ると、10代において「知らない」が42.9%と多く、「あまり知らない」が9.5%と少なくなっている。20代においては「あまり知らない」が30.1%と多くなっている。
- ◆行政区別で見ると、大きな差異はみられない。



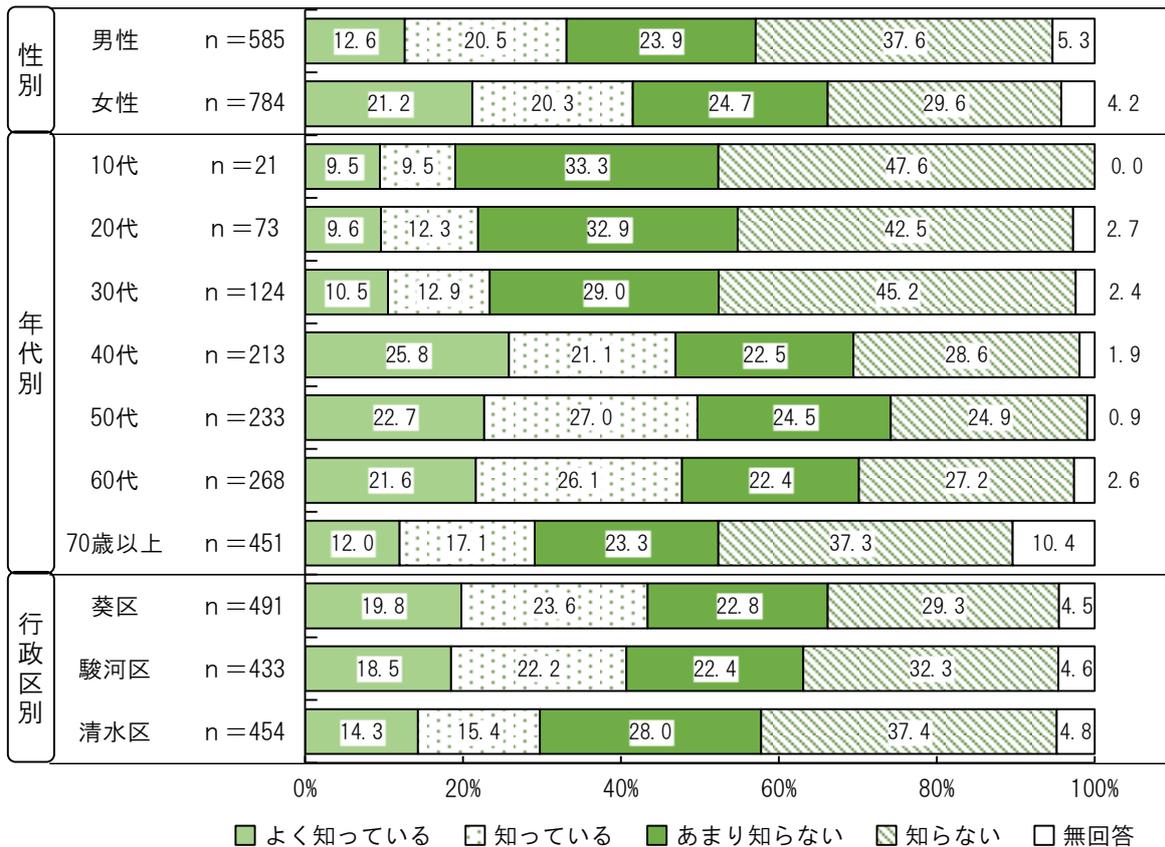
【④-4 休日の歯に関する救急は「救急歯科センター」が担っていること】

◎POINT◎

休日の歯に関する救急は「救急歯科センター」が担っていることについては、「知らない」が32.7%と最も多く、次いで「あまり知らない」が24.3%、「知っている」が20.3%などとなっている。また、『知っている』（「よく知っている」+「知っている」）は37.8%、『知らない』（「あまり知らない」+「知らない」）は57.0%となる。



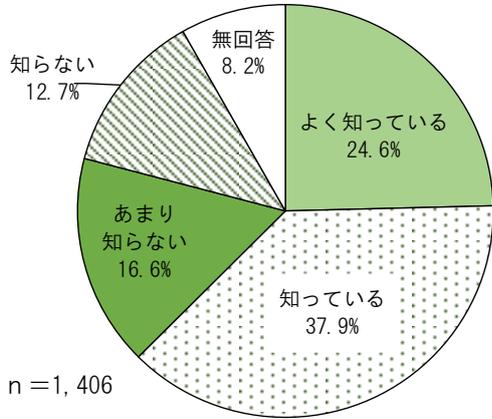
- ◆性別でみると、女性において「よく知っている」が21.2%と多くなっている。
- ◆年代別でみると、10代において『知らない』が81.0%と多くなっている。
- ◆行政区別でみると、清水区において『知らない』が65.4%と多くなっている。



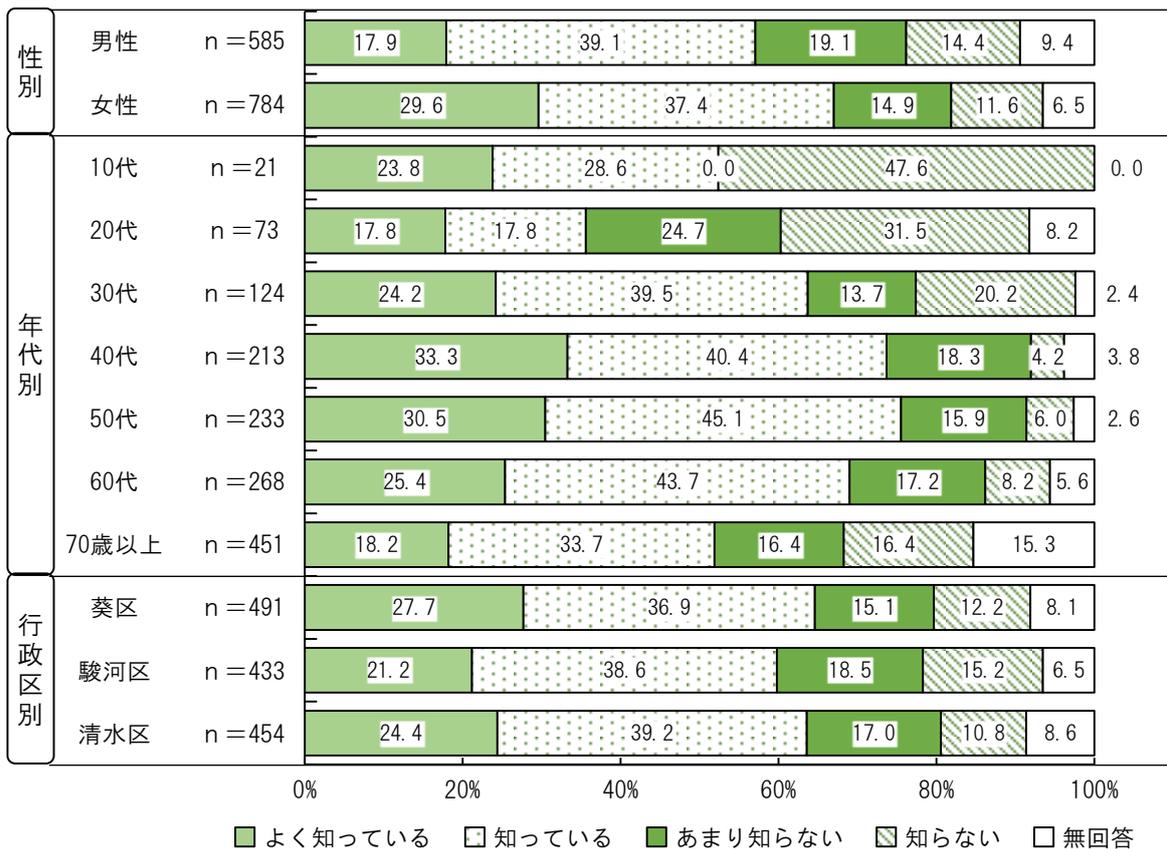
【⑤救急当番の調べ方】

◎POINT◎

救急当番の調べ方については、「知っている」が37.9%と最も多く、次いで「よく知っている」が24.6%、「あまり知らない」が16.6%などとなっている。また、『知っている』（「よく知っている」＋「知っている」）は62.5%、『知らない』（「あまり知らない」＋「知らない」）は29.3%となる。



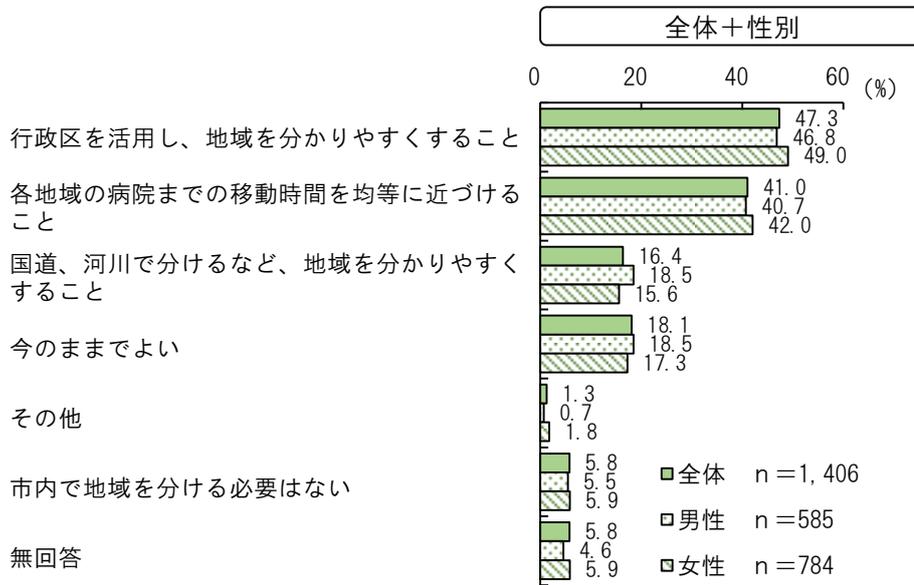
- ◆性別で見ると、女性において「よく知っている」が29.6%と多くなっている。
- ◆年代別で見ると、10代において「知らない」が47.6%と多くなっている。20代においては「あまり知らない」が24.7%と多くなっている。
- ◆行政区別で見ると、駿河区において『知らない』が33.7%と多くなっている。



問5 救急医療体制の整備を行う基準となる地域を新たに設定する際、どのようなことを重視するの
 がいいと思いますか。(〇はいくつでも)

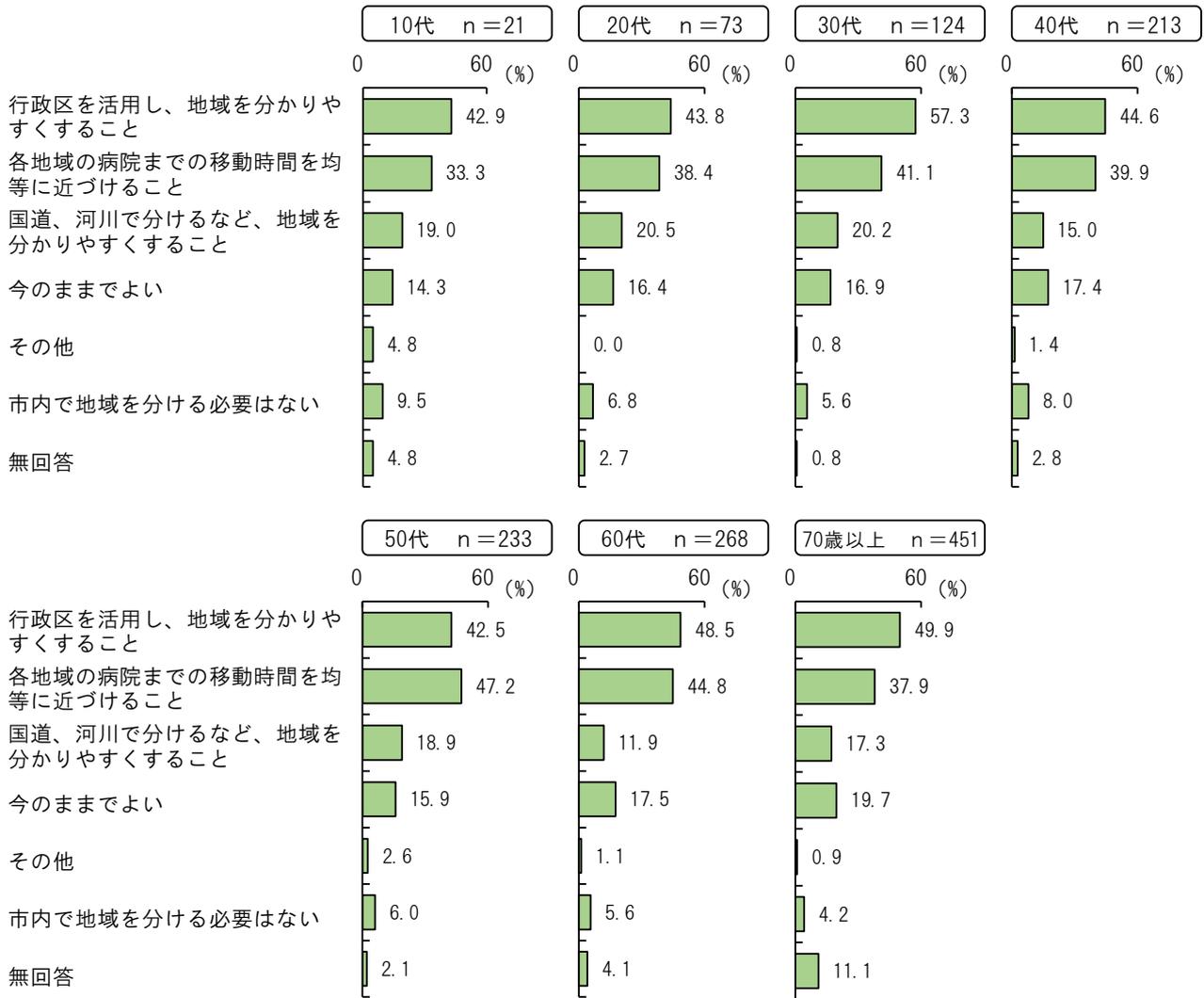
◎POINT◎

救急医療体制の整備を行う基準となる地域を新たに設定する際、重視したほうがいいと思う点は、「行政区
 を活用し、地域を分かりやすくすること」が47.3%と最も多く、次いで「各地域の病院までの移動時間を
 均等に近づけること」が41.0%、「国道、河川で分けるなど、地域を分かりやすくすること」が16.4%な
 どとなっている。



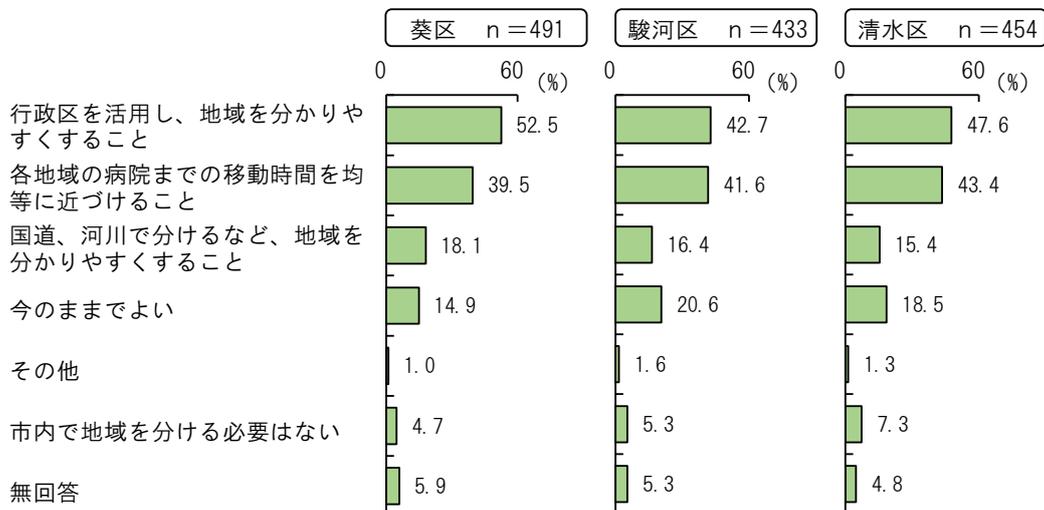
◆性別で見ると、大きな差異はみられない。

【年代別】



◆年代別でみると、30代において「行政区を活用し、地域を分かりやすくすること」が57.3%と多くなっている。50代においては「各地域の病院までの移動時間を均等に近づけること」が47.2%と最も多くなっている。

【行政区別】



◆行政区別でみると、大きな差異はみられない。